

2022年8月31日

レンブラントホテル海老名

2022年9月1日よりホテルアメニティ提供方法を変更します

プラスチックを主原料とした製品の廃棄量削減をめざして

レンブラントホテル海老名（所在地：神奈川県海老名市中央、総支配人：田川祐介）は、2022年9月1日（木）より、歯ブラシ、ヘアブラシなどプラスチックを主原料とするホテルアメニティの客室設置を停止し、フロントより必要な分だけお持ちいただくバイキング形式へと変更いたします。

この取り組みは、近年世界的に問題となっている海洋プラスチックごみや気候変動などを背景に成立した「プラスチック資源循環促進法」（2022年4月1日施行）に基づいて行うもので、プラスチックを主原料とする製品の廃棄量削減を目的としています。

これまでシティホテルにおいては、アメニティ類の客室設置がサービスの一環として広く行われておりました。本取り組みは、廃棄量を減らすための第一歩として、3R（Reduce-リデュース、Reuse-リユース、Recycle-リサイクル）のうちReduce-リデュース（使用量を減らす）に着目し、使う人が、使うものだけを選ぶことで使用量および廃棄量を減らし、持続可能な地球環境作りの一助となることを目指します。

●実施期間：

2022年9月1日(木)～

●対象アメニティ：

歯ブラシ、ボディスポンジ、ヘアブラシ、カミソリ、コットンセット（ヘアゴム・綿棒・コットン）

プラスチック製品削減プロジェクトを通じてSDGs3つのゴールへ



※レンブラントホテル海老名は、「国連の定めるSDGsロゴ使用のためのガイドライン」に従い、情報目的としてSDGsロゴを使用しております。 https://www.un.org/ja/files/SDG_Guidelines_AUG_2019_Final_Ja.pdf